

新年度のはじまりです

新年度2023を迎え、卓球愛好家のみなさんとともに、さらにアスリートの限らない魅力を共に分かち合いたいと願います。

『スポーツが夢を語らないでどうする！』

藤井聡太、大谷翔平両氏が夢を与え続けてくれます。

二人に共通するのは、『謙虚さ』に裏打ちされた己の可能性を信じる姿。

藤井聡太さんは史上最年少で六冠達成。

王座を守り切れるかという永瀬拓矢氏のコメント、「藤井さんの謙虚な人柄に接することで、精神的にもよい影響を受けています。藤井さんの技術を支えているのは、誰よりも勉強しているという事実。姿勢も技術も、勉強の大事さも藤井さんから学んでいます。」（日本経済新聞 2023/3/20）

「日々を生きる勇気を与えてくれた」（日本経済新聞春秋 2023/3/23）とWBC全勝優勝が称えられました。

二刀流で始まり、二刀流で幕、野球伝道の使徒、大谷翔平さんのあの純粋無垢な笑顔で野球を楽しむ姿は年齢・ジェンダー・国を超えてたくさんの人に感動をもたらします。

二人は教科書にも登場します（以下、日本経済新聞 2023/3/29）。小学5年の算数の教科書には「私と算数」と題した大谷選手のメッセージが載った。打撃のフォームを三角形に置き換えて体重のかけ方を考えていることや、相手打者の打球方向の割合を頭に入れて試合に臨んでいることを伝えた。

大谷選手が高校時代、夢の実現のために必要な取り組みをまとめた「目標達成シート」も道德の教科書などで紹介された。

保健の「心の健康」を学ぶ単位では藤井六冠が対局に負けたときの気持ちの切り替えについて語るページがあった。道德の教科書には藤井六冠が努力を重ねてトップ棋士になる経緯が載った。

二人の謙虚さもさることながら、AIを駆使し情報を集め科学的アプローチで技術を磨く姿はアスリートのみならず、今を生きるわたしたちすべてのこれからの指針となります。

最後に、いよいよ2023年度より「地域移行」が本格化します。「さまざまな立場の大人たちが積極的に関与し、子どもたちにとって適切な環境づくりを進める」ことが迫られます。

そして、大人たちに求められることを、WBC栗山監督がメッセージとして残してくれました。

「心理的安全性」を担保すること。

互いをリスペクトし、自主性を重んじ、押し付ける指導をせず、良さを引き出すことが指導者の役割。

今年度、さらなる一步をともにしましょう。



一般社団法人 和歌山県卓球協会
会長 茂原 治